

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

岡崎市長 内田 康宏

市町村名 (市町村コード)	岡崎市 (232025)
地域名 (地域内農業集落名)	六ツ美 <small>井内、中之郷、土井、下和田、野原、上野野、石家、本郷、下野野、家崎、上合野木、下合野木、福崎、上三ツ木、下三ツ木、坂定石、原正、中村、定原、正名、安藤、中島上郷、中島八郷、中島新郷、中島清郷、中島小園、中島高郷、井村本郷、向郷、永井、高橋、土呂原郷、上地郷</small>
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年1月16日 (第3回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、高齢化により農業従事者は減少傾向にあるが、圃場の大規模化がなされており、他地区と比較しても担い手への農地の利用集積は進んでいる。また一部の地区では化学農薬及び化学肥料の低減などの有機農業の取組みが進んでいる。しかし、小規模な農地(主に畑)は、担い手に集積することは難しいため、他地区からの担い手の参入や後継者、新規就農者、半農半Xなど多様な担い手の確保・育成を図ることが課題である。また水路の清掃や畔の草刈りも地権者が高齢化や相続で地域から出てしまうなどで労力を確保することが難しくなっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・土地利型農業については、水稻・麦・大豆によるブロックローテーションを推進する。
- ・水田のスマート農業化を図り、作業の省力化を推進する。
- ・イチゴ・ナス等の施設野菜やホウレンソウ・ネギなどの露地野菜の生産振興を図る。
- ・化学農薬及び肥料の低減、有機農業の取組面積の拡大を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	666 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	665 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

原則、農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とし、担い手による耕作が困難な場合など今後維持していくことが難しい農地は、必要に応じて保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1) 農用地の集積、集約化の方針</p> <p>当地区は、高齢化により農業従事者は減少傾向にあるが、圃場の大規模化がなされており、他地区と比較しても担い手への農地の利用集積は進んでいる。また一部の地区では化学農業及び化学肥料の低減などの有機農業の取組みが進んでいる。しかし、小規模な農地(主に畑)は、担い手に集積することは難しいため、他地区からの担い手の参入や後継者、新規就農者、半農半Xなど多様な担い手の確保・育成を図ることが課題である。また水路の清掃や畔の草刈りも地権者が高齢化や相続で地域から出てしまうなどで労力を確保することが難しくなっている。</p>
<p>(2) 農地中間管理機構の活用方針</p> <p>貸付希望のある農地は農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、担い手への集約化を進める。</p>
<p>(3) 基盤整備事業への取組方針</p> <p>昭和40年代後半～平成初頭にかけて土地改良事業を実施した地域が多いが、パイプラインの老朽化や区画が小さい農地も多いため、地域や担い手の要望を踏まえ、必要に応じて基盤整備を検討する。</p>
<p>(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>西三河農林水産事務所、岡崎市、岡崎市農業委員会、JAなどと連携して、毎月実施している新規就農者支援対策担当者会議で就農相談などの新規就農者に関する情報を共有しながら、栽培技術の指導、農業用機械導入の補助、農地のあっせんなどの取り組みにより、新規就農者の相談から定着まで切れ目のなく支援する。</p>
<p>(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>水稲・麦・大豆によるブロックローテーションについては、麦・大豆の農作業を受託部会に委託する。</p>

以下任意記載事項(地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ・岡崎市有機農業実施計画に基づき、有機農業面積の拡大を図り、団地化を進める。
- ・岡崎市情報通信環境整備計画に基づき、スマート農業の推進を図る。
- ・JAあいち三河関連の農業用施設の設備の増強を図る。

